

客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

学業成績の評価について

学業成績の評価については、次のとおりとする。

(1) 成績の評価は、その教科の試験評価、平素の学習状況及び出席状況を考慮し、総合的に評価する。

(2) 成績の評価は優・良・可・不可の4段階とし、その評価基準は次のとおりとする。

| 評価 | 判定 | 基準 |
|----|-----|-----------------------------------------------------------------|
| 優 | 合格 | 教科に対する理解および日常の授業態度が著しく優秀な者 (目安：定期試験80点以上、且つ教科の出席率85%以上) |
| 良 | 合格 | 教科に対する理解および日常の授業態度が良好な者 (目安：定期試験60～79点、且つ教科の出席率85%以上) |
| 可 | 合格 | 教科に対する理解および日常の授業態度が妥当と認められた者 (目安：再試験・追試験60点以上、且つ教科の出席率85%以上) |
| 不可 | 不合格 | 合格と認められるに足る教科理解と授業態度を示さなかった者 (目安：追試60点未満、または教科の出席率85%未満) |

客観的な成績分布状況の把握について

(1) 下位1/4に該当する人数について

各講義受講人数*で算出

【例】40名受講の場合 $40 \div 4 = 10$ 名

(2) 下位1/4に該当する指標の数値について

各講義受講者の評価を点数化し算出。

4段階評価について、「優」を3ポイント、「良」を2ポイント、「可」を1ポイント、「不可」を0ポイントとして換算。

下位1/4に該当する指標の数値を求める事例を以下に示す。

【例】40名が受講し、優5名、良25名、可10名、不可0名の評価が付与された場合
 $(3 \times 5 + 2 \times 25 + 1 \times 10 + 0 \times 0) \div 40 = 1.875$ ポイント